

## 令和5年度岩城少年自然の家第1回協働会議 要旨

1 日 時 令和5年6月14日(水) 午前9時半から11時まで

2 場 所 岩城少年自然の家 大研修室

3 出席者

(1) 委員

三浦委員(会長)、三戸委員(副会長)、長田委員、桑原委員、齋藤委員、佐々木委員、佐良土委員、近藤委員

(2) 県教育庁生涯学習課

佐々木主任社会教育主事(兼)サブリーダー

(3) 事務局(岩城少年自然の家)

須田所長、栗林主査(兼)班長、菊地主任社会教育主事(兼)班長、越前屋主事

4 議事概要

(1) 開会

(2) 岩城少年自然の家所長あいさつ

(3) 県生涯学習課あいさつ

(4) 出席者紹介

(5) 協働会議会長・副会長選出

(6) 議事(議長:会長)

①報告

○岩城少年自然の家の運営について

○利用状況について

○主催事業予定について

○広報活動について

○その他

②協議

(7) 閉会

5 委員からの主な意見

- ・運営計画に重点事項が7項目あるが、4番から7番までは職員が当然取り組むべき事項であって、そのことによりかなりのスペースを取って記述しているのは疑問である。
- ・少子高齢化が進んでいく中で小・中学生が利用の中心になると思うが、生徒数が減っていくのであればどうするのか、サービス内容が良く利用者が多いのであれば予算を増やすとか、その逆であれば縮小してでも内容を維持していくとか、今後どうするのかを議論すべきではないか。
- ・小学校で岩城を利用した学校が、中学校でまた行くと同じ活動になってしまうのではないかと懸念からか他地域の施設を利用しているようだが、中学校ではより発展した活動、例えば中学生向けのPA(プロジェクトアドベンチャー)ができるとか、キャリア教育に繋げていけるとかということをお願いしたい。
- ・PTAや地域の人達は防災に興味があると思うので、出前講座の中で防災みたいな形の講座ができますということをPTAの開催時期に合わせて知らせてくれれば興味を持つ人もいるだろう。
- ・館内はバリアフリーだが、外でも車椅子など歩行の難しい人が利用しやすい環境を整えれば、少しでも自然の豊かさに触れ、豊かに活動できるのではないか。